

ながぬま

賀正



新年のご挨拶



代表理事組合長 柴田 佳夫

新年あけましておめでとうございます。組合員皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業に対しまして、特段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和2年に道内でも発生した新型コロナウイルススについては、いまだ収束が見通せない中、経済・社会活動も徐々に日常を取り戻しつつあります。しかしながら、昨年、秋以降から感染者も増加し依然予断を許さない状況下であります。感染対策を引き続き講じながら令和5年の各種事業を進めてまいりますのでご理解を賜りたいと存じます。

さて、令和4年度の営農実績では春先は積雪も多く、融雪期も平年より10日遅れましたが、本格的な春耕期から農作業は遅れることなく順調に進みました。また、4月上旬から5月中旬まで少雨干ばつ、9月には台風により一部農作物の倒伏など被害がありました。概ね各作物

このことは食料・農業・農村をめぐる環境が大きく変化する中、将来にわたってJAが国民の食の安全・安心を守るため、国内生産の増大を基本とした万全な政策の確立に向けた行動が不可欠です。

また、食料自給率の低迷や生産基盤の弱体化、多発する気象災害など、「食」や「農」を取り巻くリスクが増大していることや、農業生産に係るコストが上がっても農産物の価格へは転嫁しにくい実態など、消費者・実需の皆さまに対する「食」と「農」への理解を深めていただくことが重要であります。そのことから、JAグループでは国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産するという「国産国産」の意義を発信し、今後もより一層、消費者・実需の皆さまに国産の農産物を手に取り、選んでいただけるよう努めてまいります。

農協は、「組合員の組織」であり、自らが出資をし、自らが事業を利用することで総合農協として、組合員個々の経営に寄与するものであります。合わせて地域社会に貢献することを目的とする組織であります。この理念の実現に向けて組合員皆さまと役員・職員が共有しながら長沼農業の価値を高め魅力あるものにし、組合員の農業所得の増大に寄与する組織であり続けるために、組合員との対話を通じて変化を共有し関係機関と連携を深め事業推進に取り組んでまいりますので引き続きご指導ご協力の程よろしくお願いいたします。

結びに、本年が災害のない豊かで実り多き明るい年となること、組合員皆さまのご健勝をご祈念申し上げご挨拶いたします。

において順調に収穫作業が行われました。水稲の作況指数「南空知105」（北海道106）で「良」となり、米の館の受入は計画以上の集荷を見たところです。しかし、収量面においては網下の屑米が多く、また、品質は平年並み、「ゆめぴりか」の基準品米（低タンパク7.4以下）は69.8%となる状況であります。また、11月に開催されました第7回空知地区「ゆめぴりか」コンテストでは、平成29年度に続き2度目のグランプリを獲得したことは、誠に栄誉なことであり生産者皆様のご努力に敬意を表するところであります。

小麦は施設受入計画対比95.6%となり、秋まき小麦の粗原料反収で10.5俵、製品反収で9.5俵となりました。穂長がやや短く収量への影響が懸念されましたが、一穂粒数は平年並みだったことから品質・収量は平年並みの状況となりました。

大豆も施設受入計画対比102%で、4282トンの受入れをいたしました。播種

後、順調に生育し出来秋を期待いたしておりましたが、8月中旬と9月下旬の降雨の影響により、収量は確保したものの全般的に被害粒が発生し、自主検査では品位Ⅱ（3等）特定加工）を中心とした状況であります。

野菜については、8月の降雨の影響により一部の品目において品質低下を招き収量減などもありましたが、全般的に単価も高く安定していたことから販売額については計画を上回る実績となりました。

ブロッコリーについては、降雨の影響により歩留まりが低下し出荷量が減少したことで計画を下回るものの、昨年の実績を上回る見込みであります。トマトについても今年から品種転換を行った結果、取引先から品質評価が高まり、品質・収量とも過去最高の実績となる見込みであります。

農畜産物全体の販売額については、計画を上回る84億円を見込んでおります。

一方、農業を取り巻く環境は現在、ウクライナ情勢や、急激な円安など様々な要因により、肥料・飼料・燃油など営農に欠かすことのできない資材価格が高騰し、次年度以降の農業経営においても影響が大きく懸念されているところであり、農協としても化学肥料の低減に向けた取り組みや国などの各種高騰対策の申請・対応を図ってまいります。

迎春

二〇二三年元旦

ながめま農業協同組合

代表理事組合長	柴田 佳夫
専務理事	服部 正幸
常務理事	岩崎 徹哉
総務・経済対策委員長	健名 和哉
営農委員長	福島 幸二
総務・経済対策副委員長	越路 昌隆
営農副委員長	石尾 大介
理事	大橋 敏央
理事	鳥井 昌幸
理事	十河 義満
理事	大崎 貴幸
理事	吉田 満
理事	東山 哲智

代表 監事	三好 忠和
常勤 監事	松本 豊
監事	村上 芳宏
監事	中原 久勝
管理部長	大和田 健
金融部長	山村 範人
営農部長	波川 浩己
販売部長	富澤 和幸
資材部長	高嶋 良幸
営農部審査役	森 正敏
管理部次長	仁和 貴也
経営相談部次長	今村 大樹
金融部次長	大屋 寛
販売部次長	氏家 真吾
営農部次長	村井 忠夫
営農部次長	阿部 秀幸
外職員	一同

令和5年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦い

が長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んでまいります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んでまいります。

結びになります。本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊稔の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

新年のご挨拶



空知農業改良普及センター
空知南西部支所

支所長 山 本 正 浩

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たりながめ農業協同組合の組合員とご家族のみなさまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、平素より農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力いただいておりますことに感謝を申し上げます。

せっかくの機会をいただきましたので、昨年の振り返りと令和5年に向けた取組について、少しご説明させていただきます。

昨年は2〜3月の降雪により融雪期が平年より10日遅れ、春作業への影響を心配しましたが、その後は日照時間も多く、気温も高い日が続き、作業は概ね順調に進みました。しかし、融雪以降の小雨と6月上旬の低温により大豆や春まき小麦の出芽遅れや、強風などによる水稻の植傷

み、秋まき小麦の防除の遅れなどが生じました。その後は天候も回復し、概ね平年並の生育に回復しました。また、令和2年ほどの高温ではなかったものの、特に7月上中旬が高温となり、秋まき小麦の細粒化やブロッコリーの出荷が集中するなどの影響がありました。

作柄については、南空知の水稻の作況指数が105となり、タンパク質含有率は並々や低い傾向となりました。

畑作物については気象条件は厳しかったものの、概ね平年並の収量・品質を得ることができました。

園芸作物については、ブロッコリーが9億円超、トマトは令和3年の猛暑による大幅な減額を乗り越え、6.5億の販売額となりました。

厳しい気象条件の中でも、基本技術の励行と

柔軟な対応によってもたらされた結果であり、生産者やながめ農業協同組合役職員のみならず、関係者各位の尽力に敬意を申し上げます。

一方、昨年は収量や品質の個人差が大きかったという話も聞きます。不可抗力以外は、「なぜそうなったのか」「その解決策は何だったのか」「来年にどう生かすか」など問題を整理し、自分なりの答えをしっかりと導き出しておくことが重要ではないでしょうか。

また、肥料価格の高騰は平均で17倍にも及び、今後も高止まりすると予想されています。今後購入するものについては、銘柄や施肥方法の変更などによって肥料費の削減を検討する必要があります。

水田活用の直接支払交付金にかかる対応では、畑として使用している水田への入水が行われると思います。注意すべき点多々ありますので長期的に農地利用のあり方を考えていくことが重要です。

普及センターとしてもみなさまと一緒に考え、地域の活力向上に繋がる支援を続けてまいります。今後もお気軽に相談ください。

新型コロナウイルス感染症は流行して3年が経過します。これに対応した新しい生活スタイルにも慣れたことと思います。令和5年もこの影響は多岐に及ぶと思いますが、みなさまのご健勝で営農し、豊穡の秋を迎えられますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

内田前会長 町政功勞表彰を受賞する

11月30日、当JA内田前会長が、長沼町発展に尽力された功績により町政功勞者の表彰を受けられました。



内田前会長におかれては、当農協理事、代表理事組合長、会長理事として20年にわたり組合運営を通じ、農業の発展に貢献し、町政振興に寄与された功績においてこの度表彰されることとなりました。

表彰式では、内田前会長をはじめ、産業功勞、社会福祉功勞、治安功勞の各分野から11名の方が齋藤良彦町長より表彰楯が授与され、平井儀一町議会議長から祝辞が述べられました。



表彰後、内田会長がJAを訪れ、常勤役員へ表彰の報告と「組合員の営農と生活を守り、そして向上させるため職務にあたったが、長きにわたり組合員、役員、関係機関の方々に支えていただき感謝申し上げます」と謝辞が述べられました。

「地区懇談会」を開催

12月6日から8日の3日間、地区懇談会が開催されました。



今年の懇談会では、31行政区中21行政区で3年ぶりに行政区会館が会場になりました。新型コロナウイルス感染拡大防止及び、組合員皆様の健康を考慮し、マスクの着用・アルコール消毒にご協力いただいた中での開催となりました。

農協からは、令和5年度事業計画、肥料高騰対策の概要などを説明させていただき、参加された方々から農協事業へのご質問やご意見をいただきました。

今後も組合員皆様の「農業所得の向上」や「担い手の育成」に向け、農協経営の健全性や組合員、地域の方々に安心してご利用いただける組づくりに取り組んでまいります。

青年部 全道青年部大会 実績発表で優秀賞を受賞

12月8〜9日、札幌市内で、全道青年部大会が開催されました。

大会では、8日には、青年の主張大会と各JA青年部の具体的優良事例を紹介する活動実績発表大会が開催されました。空知代表の当青年部と宗谷地区・北宗谷青年部、十勝地区・新得町青年部、日胆地区・びらとり青年部、後志地区・きょうわ青年部根室地区・けねべつ青年部が、発表をおこないました。



当青年部は5区広嶋克哉さんが、とうふをはじめとする、ながめま農産物ブランド化事業を発表しました。

6日は、講演会が行われ、その後の本大会にて、表彰式がおこなわれました。審査の結果、優秀賞を受賞することができました。



令和4年度 第2回 税務研修会開催

11月29日、令和5年10月より導入される消費税インボイス制度について理解を深めることを目的に『消費税インボイス制度の概要と留意事項』をテーマとして税務研修会を開催いたしました。

松井一晃税理士事務所所属税理士村上紀子氏を講師に迎え、消費税インボイス制度についてご講義いただきました。研修会には多くの組合員が出席し、様々な質問がでるなど、理解を深める大変有意義な時間となりました。

今後ともテーマを掲げ税務研修会を実施してまいりますので、是非ご参加ください。



『営農計画樹立』は家族ぐるみで！

本年も営農計画を樹立する時期となりました。この時期にじっくりと営農計画に取り組み基本方針を立てることが最も重要であり、また、各作物の生産性向上や気象条件などによる危険分散することも考慮し、作付品目などを計画する必要があります。

今年度の営農計画書作成にあたっては、前年度の実績を踏まえ、肥料・農薬等の生産資材の効率的利用、コスト低減と経費の節減に努め家族ぐるみで実行可能な計画を樹立し、経営の発展に努めていただきたいと思います。

なお、営農計画書の提出期限は2月10日までとなっておりますので、期日を厳守し提出してくださいませようお願い申し上げます。

お問い合わせ 経営相談部 経営相談課 TEL 88 - 2229

営農用石油特別価格対策の実施について

燃料センター系統石油事業では、営農コストの低減を図るため、農業用免税軽油と米麦乾燥などの農業用灯油について、特別対策を実施しております。

令和4年度につきましても、取扱実績に対して、次の通り値引き修正をもって、特別価格対策を実施いたしましたのでお知らせいたします。

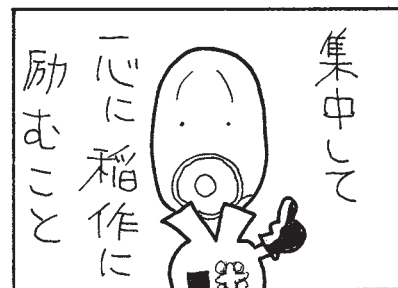
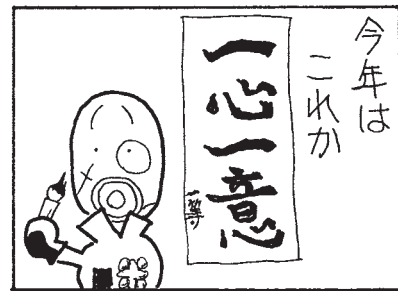
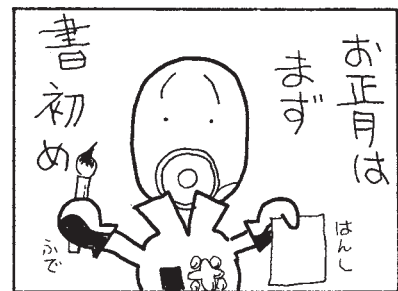
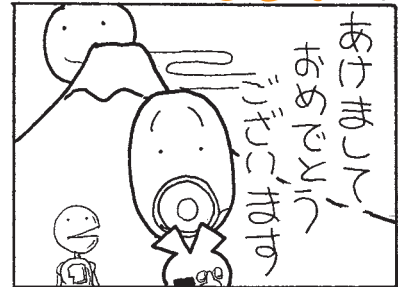
12月21日付で、各々のクミカンまたは普通貯金に修正経理いたしました。

品名	免税軽油	農業用灯油
対象期間	4月1日～11月30日	7月1日～11月30日
値引修正(1ℓ当り)	6円	6円



お問い合わせ (株)FAMO長沼 燃料センター TEL 88-2015

10月24日



農業者年金 巡回相談会開催

農業者年金受給待期者を対象とした巡回相談会を下記のとおり開催いたします



Q:これから農業者年金を受給する予定だけど手続きは?
Q:今、農業者年金はどうなっているのか?

…などのご質問にお答えいたします
参加を希望される方は、下記事項をご留意のうえJAながめま経営相談課までお申し込みください

開催日時	令和5年1月24日(火) 午後1時30分～ (午後1時より受付開始)
開催場所	JAながめま 2階 第1会議室
参加申込	令和5年1月13日(金)までに 経営相談部経営相談課 (☎88-2229) までお申し込みください

<開催にあたってのお願い>
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、次の点にご留意ください。
①マスクの着用、手洗い・手指のアルコール消毒の励行をお願いします。
②受付時に参加者の体調、体温の聞き取りを行いますのでご協力ください。
③新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、開催の延期や中止とさせていただきます。また、定員(20名)に達したときは参加申込を締め切ることがありますので、あらかじめご承知ください。

食と農 ひらく未来へ 確かな目

最新の営農技術から農畜産物の市況見通しまで

購読のお申し込みはJAへ



女性部部会活動報告

女性部 秋季研修旅行



11月24日～25日、JA女性部秋季研修旅行が3年振りに行われました。網走・北見方面へ1泊2日バス

の旅(19名参加)を実施いたしました。初日は北の大地の水族館やハッポ油を精製している工場、そして網走監獄博物館の見学をしました。翌日は小清水のどんぶんを使ったお菓子「ほがじゃ」の工場見学、流水ガラスを使ったネットワーク作りなどを体験しました。コロナ禍で3年ぶりの開催に参加者は楽しい時間を過ご

女性部 フレミズ部会 秋季研修旅行



11月29日～30日、JA女性部部員12名が参加のもと小樽へ1泊2日の研修旅行を実施しました。初日は北海道のぶどうを使って作る北海道ワインの見学、長沼のゆめびりかを使用した「夢馬追」の製造をされている田中酒造の見学を行いました。2

されていきました。加藤部長は「初めて参加しましたが、部員の皆さんと楽しく過ごせて、とても良い研修ができました。」と述べられました。

女性部 Aコープ酢講習会



12月1日、JA女性部ではAコープのお酢を製造している岡山県大興産業から講師を招いて酢料理講習会

日目は吹きガラス体験でグラスを作成し、小樽散策、そしてロイズ太美工場の見学と盛りだくさんの行程でした。家族への感謝とお土産をたくさん持って無事に帰宅することができました。

を開催いたしました。お酢を使うことは減塩効果もあること、普段の生活に役立つお酢の便利な使い方と

女性部 ひまわり部会と理事の合同研修会



理を4点ほど教えていただき、参加者からは調理行程や食材についての質問が有意義な講習会になりました。

11月4日、助け合い組織ひまわり部会と当女性部理事で千歳市防災センター「そなえーる」へ行きました。「そなえーる」では災害が発生時の行動や防災への備えを学び、今回は胆振東部地震の揺れを再体験して、当時のことを思い出し、改めて災害の備えの大切さを確認することができました。

理事会報告 - 第13回 -

《令和4年12月16日開催》

[議案]

- 第1号 第3四半期自治監査講評
- 第2号 令和5年度営農計画に係る農産物価格の設定について
- 第3号 組合員の資格変更について
- 第4号 事業推進員会議の開催について
- 第5号 令和4年度決算見込みについて(11月末現在)
- 第6号 「コンプライアンス規程」の一部変更について
- 第7号 JANAがぬま「SDGs取組方針」の策定について
- 第8号 令和5年度内部監査計画の策定について
- 第9号 年末賞与の支給について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 内部監査報告について(中央会～資材部・FAMO長沼(Aコープ))
4. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,571名(-2)
 正組合員 808名(-3)
 准組合員 763名(+1)
 正組合員戸数 630戸(-4)

農協の動き 11/29~12/16

11月

29日	消費税インボイスに係る税務研修会	於 農 協
30日	町政功労者表彰	於 長沼町議会議事堂
30日	粃バラ施設運営協議会	於 農 協
30日	事業推進員会議	於 農 協

12月

6~8日	地区懇談会	於 行政区会館・農協外
12日	空知管内常参総協議会	於 空知農業会館
12~13日	南々空知地区米生産流通協議会役員研修	於 沖 縄 県
12~14日	肥料高騰対策(道)申請受付	於 農 協
13日	歳末警戒パトロール	於 町 内
15日	JABANK北海道空知地区委員会	於 空知農業会館
16日	総務経済対策委員会	於 農 協
16日	理事会	於 農 協
16日	第9回監事会	於 農 協

初売りの

あさ10時から

Aコープながぬま店

地域農業の担い手、
 JA青年組織盟友を
 応援する雑誌



年2回の別冊付録は一つのテーマを掘り下げ、わかりやすく解説

お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-2232